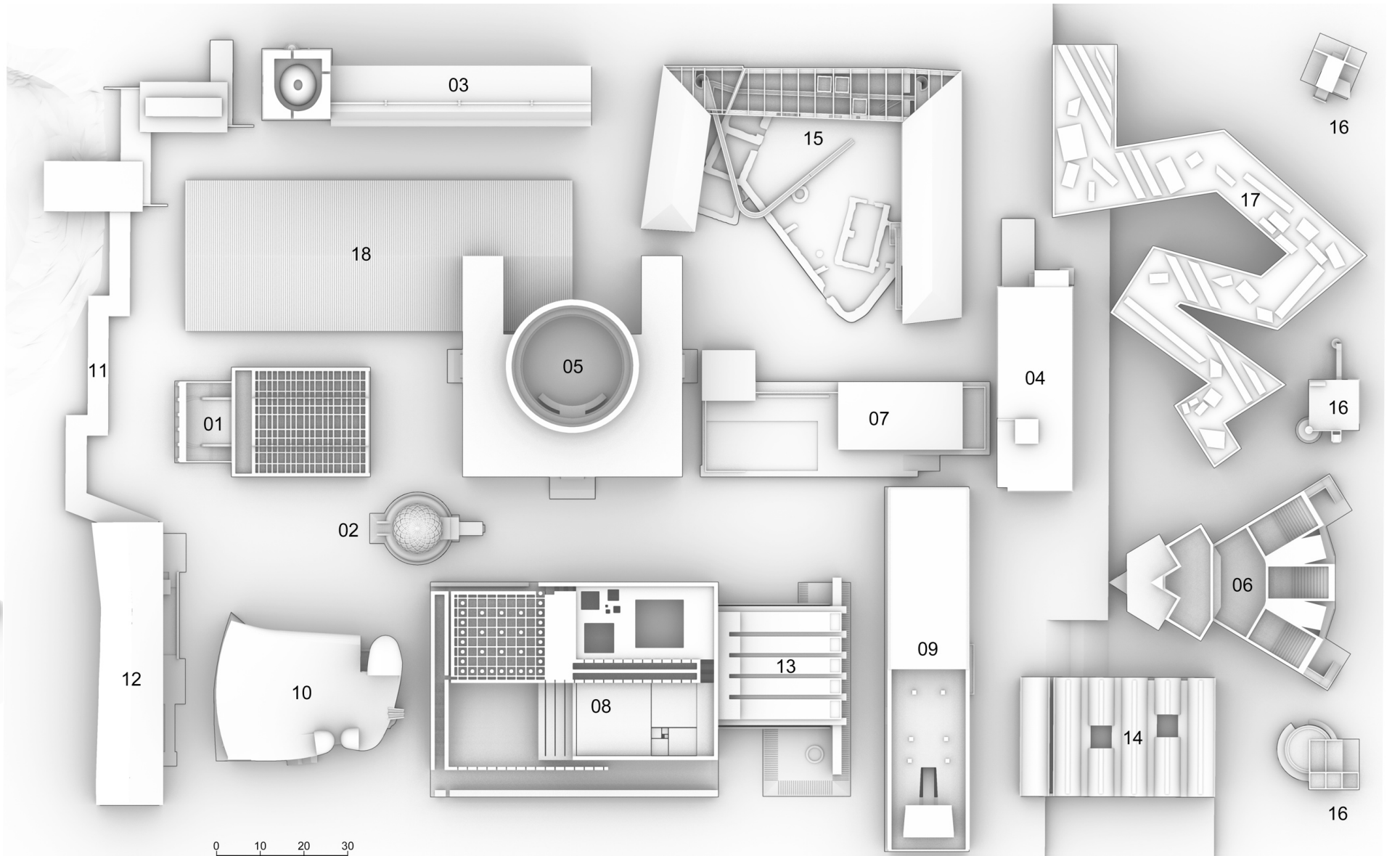
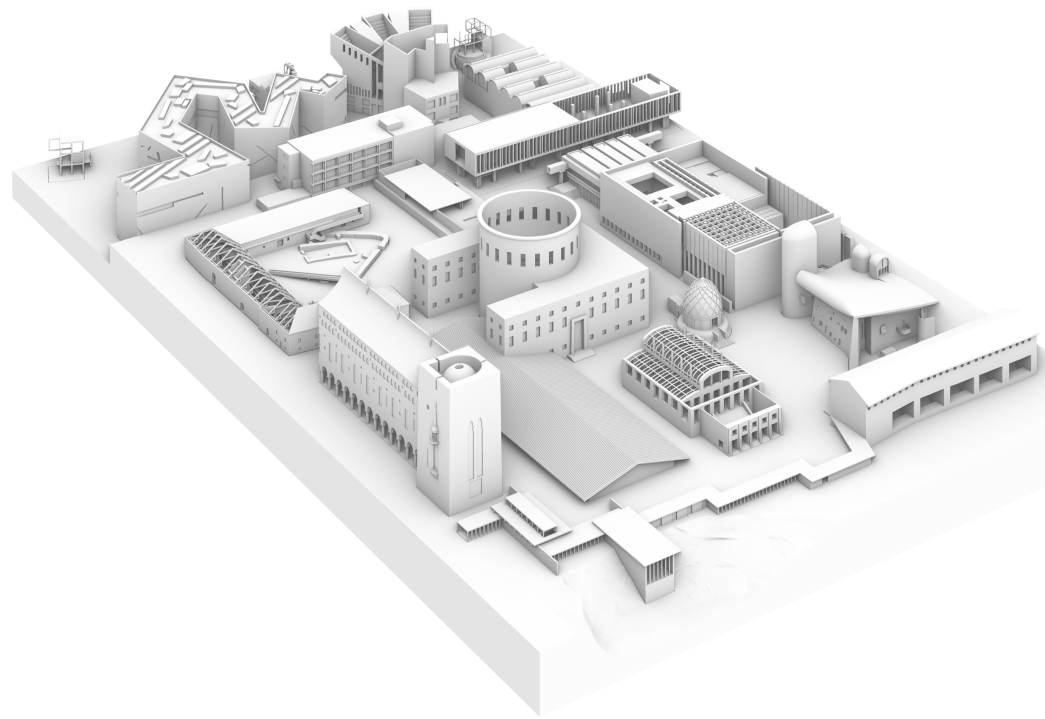


## 20 世紀の建築 (公共建築編)

Architecture in the 20th Century

Institutional Architecture



### 01 オーストリア郵便貯金局

オットー・ワグナー/1906:半透明ガラスで覆われた精巧で抽象的なアトリウム空間。

### 02 ドイツ工作連盟展ガラス・パビリオン

ブルーノ・タウト/1914:ガラスの多面体のケーポラを頂く小さな美の神殿。

### 03 スtockホルム市庁舎

ラグナール・エストベリ/1923:伝統素材と歴史様式で建ちあがる20世紀の北歐ロマンティシズム。

### 04 バウハウス校舎・デッサウ

ワルター・グロピウス/1926:カーテンウォールによる建築外装の非耐力化と透明化の表現。

### 05 スtockホルム市立図書館

グンナー・アスプルンド/1928:知のマイクロコスモスを象徴する壮大な書籍の円筒。

### 06 ルサコフ労働者クラブ

コンスタンチン・メリニコフ/1928:ホールの空間傾斜と多視点性を体現した構成主義の外観。

### 07 バルセロナ・パビリオン

ミース・ファン・デル・ローエ/1929:十字柱のミニマルな構成と壁/床材の緻密な肌理。

### 08 ダンテウム

ジュゼッペ・テラーニ/1938:ダンテ『神曲』の空間的解釈—百柱の森から地獄・煉獄・天国の間へ。

### 09 広島平和記念資料館

丹下健三/1955:被災地の再建計画から始まった戦後の日本建築の出発点。

### 10 ロンシャンの礼拝堂

ル・コルビュジエ/1955:静寂、祈り、平和、内なる喜びで満たされた「言葉にできない空間」。

### 11 ルイジアナ近代美術館

ヨルゲン・ボウ+ヴィルヘルム・ウォラート/1958:海と森と空間と美術品が共生する建築の理想郷。

### 12 カステルヴェッキオ美術館

カルロ・スカルパ/1964:中世城郭の丁寧な保存と美術館への大胆な転生。

### 13 大分県立大分図書館

磯崎新/1966:時間要因を組み込んだプロセスプランニングで計画された成長する建築。

### 14 キンペル美術館

ルイス・カーン/1972:「沈黙と光」の思惟から導かれた奇跡のヴォールト空間。

### 15 ヘドマルク博物館

スヴェレ・フェーン/1979:中世以来の遺跡の上に建てられた博物館による過去との対話。

### 16 ラ・ヴィレット公園

ベルナール・チュミ/1989:点・線・面のシステムを重ね合わせた都市公園。

### 17 ベルリン・ユダヤ博物館

ダニエル・リベスキンド/1999:建築を貫通する失われたアイデンティティの空洞。

### 18 那珂川町馬頭広重美術館

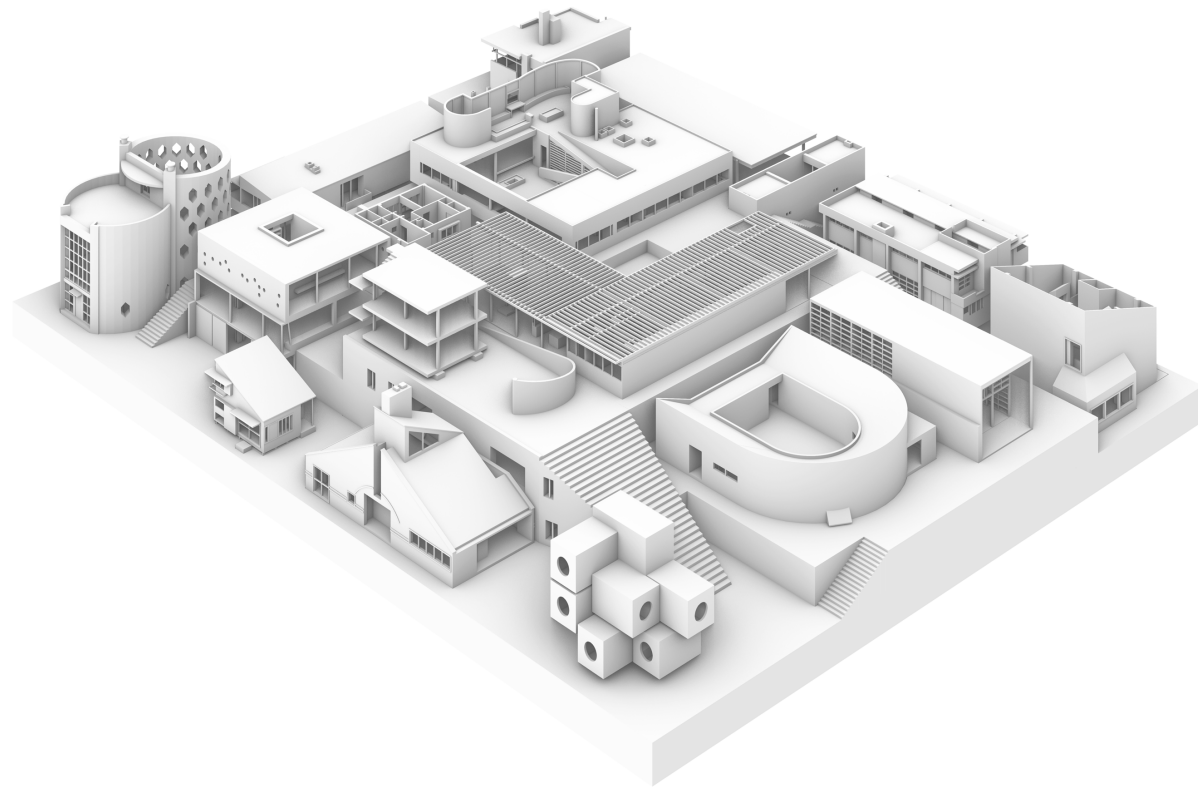
隈研吾/2000:木構造に限らない「木の建築」の可能性の実体化。

構成デザイン: 松本文夫(東京大学総合研究博物館)  
3Dモデリング: 山口湧太、田崎祥、伊室武、阿部公平(東京大学)、3Dプリンティング: 株式会社クリモト  
縮尺: 1/300 制作年月: 2021年11月  
制作: 東京大学総合研究博物館

## 20 世紀の建築 (住宅建築編)

Architecture in the 20th Century

Residential Architecture



### 01 ドミノ・ハウス

ル・コルビュジエ/1914:スラブと柱と階段からなる近代建築のアーキタイプ。

### 02 シュレーダー邸

ヘリット・リートフェルト/1924:家具から空間へと進化した面と線によるデ・スタイル。

### 03 ロヴェル・ビーチ・ハウス

ルドルフ・シンドラー/1926:空間形態と新たな言語によって具現化する「空間建築」。

### 04 メーリニコフ自邸

コンスタンチン・メーリニコフ/1929:在来技術の革新的な活用でつくられたアヴァンギャルドの隠棲地。

### 05 サヴォア邸

ル・コルビュジエ/1931:「柱と壁の分離」がもたらす近代建築の多様なデザイン・ボキャブラリー。

### 06 マラパルテ邸

アダルベルト・リベラ、クルツィオ・マラパルテ/1938:海原を臨む断崖上のテラス「ソラリウム」にいたる大階段。

### 07 プロイヤー自邸Ⅱ

マルセル・プロイヤー/1947:キャンティレバーで支持された浮遊するロングボックス。

### 08 イームズ自邸

チャールズ・イームズ/1949:大量生産部材の積極活用による新しい生活空間のデザイン。

### 09 ファンズワース邸

ミース・ファン・デル・ローエ/1950:ガラスとスチールで囲われたユニヴァーサル・スペースの原点のひとつ。

### 10 立体最小限住宅 No.3

池辺陽/1950:極小の居住空間に込められた平面と断面の創意。

### 11 51C 型

吉武泰水/1950:食寝分離と就寝分離を実現した2DK住居の原型。

### 12 スタール邸

ピエール・コーニグ/1960:近代建築のアイコンとなった都市を見渡すケース・スタディ・ハウス。

### 13 母の家

ロバート・ヴェンチャー/1963:見なれた外形に内包された多様性と対立性。

### 14 シーランチ・コンドミニアム

チャールズ・W・ムーア(MLTW)/1965:太平洋岸の自然環境に向き合う木構造の集合住宅。

### 15 中銀カプセルタワービル

黒川紀章/1972:交換可能な住居カプセルからなるメタボリズムの記念碑。

### 16 住吉の長屋

安藤忠雄/1976:打放しコンクリートの箱の中央に挿入された外部の生活空間。

### 17 中野本町の家

伊東豊雄/1976:家族の記憶が込められたU字型の内なるユートピア。

### 18 ボルドーの住宅

レム・コールハース/1998:住まいの中心を貫く生活空間としてのエレベータ。

構成デザイン: 松本文夫 (東京大学総合研究博物館)

3D モデリング: 小林友喜、阿部公平 (東京大学)

3D プリンティング: 株式会社クリモト

縮尺:1/100 制作年月:2021年11月

制作:東京大学総合研究博物館